

広報広聴特別委員会行政視察報告書

期 日	令和元年 10 月 9 日（水）
視察先	大分県 大分市
出席者	田口 孝男 委員長、新井 啓司 副委員長、 井上 敏夫 委員、栗山 香代子 委員、遠藤 浩一 委員、 山崎 由枝 委員、高村 真和 委員、難波 達哉 委員
随行者	土井副主幹
調査項目	市民が参加する議会について （市民意見交換会について、若年層との意見交換について）
調査内容	<p>（市民意見交換会について）</p> <p>平成 20 年 7 月に第 1 回市民意見交換会が始まり、今年 11 月の開催で 13 回目を迎える。平成 30 年度は、11 月 5 日～10 日の 6 日間に、1 日当たり 2～3 会場の計 13 会場で実施し、394 人が参加。1 回の時間は 1 時間 30 分かけている。アンケートも行い、結果からは、過去に参加したことがある方が過半数（平成 30 年度は 66%）を占め、年齢層を見ると 60 代、70 代の参加が多く、20 代、30 代の若い世代の参加が少なかった。性別では男性が多い。周知方法としては、市報、議会だより、ポスター、議会ホームページ、街頭ビラ配り、ケーブルテレビ等のほか、議員が SNS などで呼びかけしている。当日の運営は、全議員 44 人が各会場に 10 人程度出席し、会場設営を初め、受付、司会進行、説明、PC 操作、意見・質問に対する答弁、マイク運びなど全て議員が行う。</p> <p>（若年層との意見交換について）</p> <p>若年層の政治参加意識を喚起することを目的に、平成 23 年度から開催しており、市民意見交換会の補完的役割も担っている。テーマは特に設けず、フリーな意見交換としている。毎年、高校、大学（短期大学を含む）、専門学校の各 1 校ずつに議員が訪問し、意見交換を行う。これまで延べ 35 校と行っている。どこの学校も意欲的で、毎年やりたいという学校もあるが、極力違う学校で開催している。</p>
主な質疑	<p>Q 市民意見交換会には、予約等なしで会場に来られるのか。</p> <p>A 当日、直接来ていただいている。参加者数は会場によって、ばらつきがある。</p> <p>Q 若年層との意見交換会について、参加した生徒・学生へのアンケートでは、「議員との意見交換で自分の政治に対する意識が変わったか」の問いに対して、9 割近くが変わったと回答しているが、この数字はすごいと思うが、どのように受け止めているのか。</p> <p>A 投票率に反映できればよいと思っている。</p> <p>Q 若年層との意見交換会では、高校、大学、専門学校はどのように選んでいるのか。</p> <p>A 学校の関係者を知る議員のついで、学校に申し入れしている。</p>

広報広聴特別委員会行政視察報告書

期 日	令和元年 10 月 10 日 (木)
視察先	大分県 日出町
出席者	田口 孝男 委員長、新井 啓司 副委員長、 井上 敏夫 委員、栗山 香代子 委員、遠藤 浩一 委員、 山崎 由枝 委員、高村 真和 委員、難波 達哉 委員
随行者	土井副主幹
調査項目	議会広報の編集について
調査内容	<p>日出町の「議会だより」は、A4版のフルカラー、16～20 ページ（各号のページ数は、特集記事、一般質問通告者数により変動）、定例会ごとの年4回発行（令和元年7月31日発行で第117号）、発行部数9,900部を自治区の区長を通じて、全戸配布している。</p> <p>議会報編集特別委員会（委員数6人）が編集し、原稿全般（特集、予算・決算、議案質疑、委員会報告、編集後記）は委員が、一般質問は質問議員本人が作成している。事務局は、原稿や写真データの業者への受け渡しや「題字」や「町民の声」の正式な依頼、業者との打合せなどを行う。校正や全体のレイアウト、写真キャプションは、委員と事務局で行っている。</p> <p>昨年までは、町村議会議長会の町村議会広報研修会への参加や、町村議会広報表彰を受けた先進町村に出向き、研修を受けていたが、ことしは京都に広報クリニックの研修を受けてきた。</p> <p>編集方針の1つに、住民参加を掲げ、表紙の題字「議会だより」は毎号、書体が異なっているが、これは町内小中学校9校に毎号持ち回りで、児童・生徒に書いてもらっている。</p> <p>また、最後のページでは、「町民の声」というカコミを設け、小学校区ごとに町民に執筆をしてもっている。</p>
主な質疑	<p>Q 一般質問の議員の写真について、日出町議会ではその都度、撮っているのか。</p> <p>A 毎号、希望を募り、写真を変えている。左右の議員がページ中央の向きになるように工夫している。</p> <p>Q 一般質問の議員名の下に、地区名が入っているが。</p> <p>A 町民の方から、自分の住む地区以外の議員が、どこの地区の議員なのか分からないというご意見があり、表記するようになった。</p> <p>Q 最終ページにある「町民の声」は、どのような人に、どういう題材で書いてもらっているのか。</p> <p>A 人選は、各小学校区5地区を持ち回りとしているが、その地区出身の議員に選んでいただいている。内容は、特に問わないでいる。それぞれの方が、思っていることを800文字以内で書いてもらっている。</p>